

定例会議資料	モデル署における術科集中訓練について	令和3年2月17日 人材育成課
<p>1 趣旨・目的</p> <p>若手警察官を対象として、犯人の適正な制圧要領や受傷事故防止を図ることを目的として集中的に逮捕術訓練を行い、早期戦力化と精強な若手警察官を育成するもの。</p> <p>2 期間及び日時</p> <p>(1) 令和2年9月から実施</p> <p>(2) 毎週火曜日から木曜日の3日間、午前9時から午前10時の間</p> <p>3 指導者</p> <p>人材育成課上席師範及び署術科指導者</p> <p>4 対象者</p> <p>(1) 拝命4年未満の地域警察官</p> <p>(2) 登用後4年未満の専務員</p> <p>5 訓練内容</p> <p>(1) 刃物攻撃に対する対応訓練</p> <p>(2) 拳銃奪取に対する対応訓練</p> <p>6 訓練効果</p> <p>(1) 訓練員により個人差はあるものの、確実に技能が向上</p> <p>(2) 現場で犯人からの最初の一撃をかわすことができた事例もあり、現場活動での効果を確認</p> <p>(3) 幹部及び署員の術科訓練の重要性に対する意識が向上</p> <p>7 今後の課題</p> <p>(1) 女性警察官の指導者を含めた各署の術科指導者の育成</p> <p>(2) 練度向上のための術科訓練内容の充実</p>		